

事業報告書

「ぼくたちの地球を守ろう」

第15回小学生・中学生作文コンクール

第9回小学生・中学生ポスターコンクール

第12回アジアこども会議

2005年9月作成

NPO法人地球こどもクラブ

www.c-earth.org

2005年度運営事業
「ぼくたちの地球を守ろう」作文・ポスターコンクール
運営組織図

【主 催】

NPO法人地球こどもクラブ

【後 援】

外務省、文部科学省、環境省、東京都、新潟県、新潟県教育庁、新潟市、新潟市教育委員会、長岡市、長岡市教育委員会、長岡商工会議所、亀田郷土地改良区、亀田商工会議所、独立行政法人国際協力機構、朝日学生新聞社、NHK、フジテレビ、テレビ朝日、新潟日報

【助 成】

財団法人長岡育英会
地球環境基金

【協 力】

全日本空輸㈱

《海外》中国： 北京市教育委員会 对外合作交流処
韓国： ソウル特別市教育庁／ソウル特別市東京事務所
タイ： Ministry of Education
シンガポール： シンガポール大使館／Ministry of Education

【協 賛】

東京電力㈱ 三井物産㈱ ㈱日立製作所 ㈱東芝 東北電力㈱ 中部電力㈱
三菱重工業㈱ 関西電力㈱ 清水建設㈱ 日本原燃㈱ 電源開発㈱ 石油資源開発㈱
(財)凸版印刷三幸会 ㈱第一興商 ㈱アルビオン ユナイテッド・メディア㈱
北海道電力㈱ 四国電力㈱ 全日本空輸㈱ アオイ産業㈱ ㈱井田企画 ㈱朝日クリエ
イティブ

「ぼくたちの地球を守ろう」

第15回小学生・中学生作文コンクール 第9回小学生・中学生ポスターコンクール

<2005年度募集ポスター>

◆募集国： 5ヶ国
《日本・中国・韓国・タイ・シンガポール》

◆募集期間： 2005年1月～
2004年4月30日必着《海外》
5月20日消印有効《国内》

◆募集方法： 全国小・中学校の内1000校選定
新潟県内小・中学校全校
全国市町村環境局・図書館の内400ヶ所選定
地方紙はじめ各マスコミ約100社に掲載依頼



◆作品応募状況：

国 名		作文部門			ポスター部門			合 計
		全体	小学生	中学生	全体	小学生	中学生	
日 本		791	90	701	456	218	238	1,029
海 外		471			571			1,963
	中 国	97			110			196
	韓 国	76			74			122
	タ イ	23			174			20
	シンガポール	275			213			192
		—						—
		—						—
		—			—			—
		—			—			—
合 計		1,262			1,027			2,289

イベント名： 「ぼくたちの地球を守ろう」

第15回作文コンクール及び第9回ポスターコンクール授賞式

開催日時： 2005年7月28日（木） 午後13：30～15：00

会 場： 朱鷺メッセ（新潟県・新潟市）

主 催： NPO法人地球こどもクラブ

後 援： 外務省、文部科学省、環境省、東京都、新潟県、新潟県教育庁、新潟市、新潟市教育委員会、長岡市、長岡市教育委員会、長岡商工会議所、亀田郷土地改良区、亀田商工会議所、独立行政法人国際協力機構、朝日学生新聞社、NHK、フジテレビ、テレビ朝日、新潟日報

助 成： 財団法人長岡育英会 地球環境基金

協 力： 全日空

入賞者： 第15回作文コンクール 合計14名

国内受賞者 10名

海外受賞者 4名

第9回ポスターコンクール入賞者 合計6名

国内受賞者 2名

海外受賞者 4名

イベントの内容：授賞者への賞状及び記念メダル等の授与

賞及び受賞者数：	高円宮賞	作文	2名	ポスター	2名
	環境大臣賞	作文	2名	ポスター	2名
	優秀賞	作文	4名	ポスター	2名
	地球こどもクラブ賞	作文	2名		
	審査委員長賞	作文	2名		
	特別賞	作文	4名		
(海外参加者4カ国)					
<u>総合計 20名</u>					

◆審査委員：	審査委員長	江森 陽弘（ジャーナリスト・元朝日新聞編集委員）
	審査委員	長沢 光男（環境ジャーナリスト・元朝日新聞編集委員）
		渋谷 晃太郎（環境省環境教育推進室長）
		森 ミドリ（音楽家）
		アグネス・チャン（歌手）
		浅井 清恵（中学校教諭）
		岡崎 友紀（女優）
		内海 桂子（漫才協団会長）

4. 作文・ポスターコンクール受賞者

■□■ 作文部門 ■□■

高円宮賞

小学生部門	栗原 万誉	「動物のウンチでリサイクル」 福岡県 明治学園小学校 4年
中学生部門	河合 麗子	「目に見えないものにも目を向けて」 新潟県 吉田町立吉田中学校 3年

環境大臣賞

小学生部門	崎津 舞香	「私からの提案」 兵庫県 姫路市立青山小学校 6年
中学生部門	山田 夏菜	「大切に作る心」 愛知県 名古屋市立守山西中学校 3年

優秀賞

小学生部門	安部 寛希	「大海原へと広がる夢」 東京都 墨田区立小梅小学校 6年
中学生部門	岡部 憲和	「『もったいない』感覚で地球環境を」 東京都 東京大学教育学部附属中等教育学校 2年

地球こどもクラブ賞

小学生部門	平澤 萌美	「地球の声」 新潟県 魚沼市立広神東小学校 6年
中学生部門	野田 ゆりえ	「『もったいない』を通して」 静岡県 不二聖心女子学院中学校 2年

審査委員長賞

小学生部門	岡部 達美	「足元から行動しよう」 東京都 千代田区立麹町小学校 6年
中学生部門	岩中 広美	「用水路が気付かせてくれた」 三重県 高田中学校 3年

特別賞

中国	リュウ・ケンキョウ	「悲哀」 北京第五十七中学校 2年
韓国	イ・ハンビ	「使い捨て用品を減らしましょう！」 テギル初等学校 4年
タイ	パパック・スジンダ	「自然の環境」 ノーングブラーパークジャムパートーング小学校 6年
シンガポール	チェ・シュ・イー	「あなたの美しい地球を守るために何をしますか？」 ラッフルズガールズ中学校 3年

第9回小学生・中学生ポスターコンクール

高円宮賞

小学生部門	タン・チャオ・シアン	「美しくきれいな地球を保とう！」 小学校5年 <シンガポール>
中学生部門	外・イーチャット・プ・ロムボ	「皆さん何時でも地球を守りましょう」 中学校3年 <タイ>

環境大臣賞

小学生部門	リュウ・エイ	「動物ランド」 小学校4年 <中国>
中学生部門	ユ・ミソン	「地球を再び、そうすることが出来たなら…」 中学校1年 <韓国>

優秀賞

小学生部門	近藤 祐希	「生物が元気でくらせる世界」 新潟県 紫竹山小学校 4年
中学生部門	七種 彩佳	「e c oカーで行こう！」 新潟県 関原中学校 2年

授 賞 式



- 日 時 2005 年 7 月 28 日 (木) 13:30～15:00
- 会 場 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市)
- 主 催 NPO法人地球こどもクラブ
- 後 援 外務省、文部科学省、環境省、東京都、新潟県、新潟県教育庁、新潟市、
新潟市教育委員会、長岡市、長岡市教育委員会、長岡商工会議所、亀田
郷土地改良区、亀田商工会議所、独立行政法人国際協力機構、朝日学生
新聞社、NHK、フジテレビ、テレビ朝日、新潟日報
- 協 力 全日空

プログラム

高円宮憲仁親王妃久子殿下ご入場

主催者代表挨拶＜地球こどもクラブ会長 石井吉徳＞

高円宮憲仁親王妃久子殿下お言葉

渋谷晃太郎 環境省総合環境政策局環境教育推進室長ご挨拶

授 賞 式

高円宮賞	作文 2 名・ポスター 2 名	高円宮憲仁親王妃久子殿下より表彰
環境大臣賞	作文 2 名・ポスター 2 名	環境省渋谷室長より表彰
優秀賞	作文 2 名・ポスター 2 名	石井会長より表彰
地球こどもクラブ賞	作文 2 名 "	
審査委員長賞	作文 2 名	江森審査委員長より表彰
特別賞	作文 4 名	石井吉徳

高円宮憲仁親王妃久子殿下ご退席

アジアこども会議



- 日 時 2005 年 7 月 28 日 (木) 15:15～17:15
- 会 場 朱鷺メッセ国際会議室
- 後 援 外務省、文部科学省、環境省、東京都、新潟県、新潟県教育庁、新潟市、新潟市教育委員会、長岡市、長岡市教育委員会、長岡商工会議所、亀田郷土地改良区、亀田商工会議所、独立行政法人国際協力機構、朝日学生新聞社、NHK、フジテレビ、テレビ朝日、新潟日報
- 助 成 財団法人長岡育英会 地球環境基金
- 協 力 全日空
- 会議参加者 コンクール受賞者
- イベントの内容 受賞者及、その発表を「こどもアジェンダ21宣言」としてまとめ、環境省総合環境政策局環境教育推進室長（環境大臣代理）に提出する。
- 会議のテーマ 『「楽しく住むってどんなこと？」「家庭で」「地域で」「地球で」』
- 司会進行 NPO 法人まちづくり学校 校長 小崎弘一

プログラム

高円宮妃殿下ご入場

主催者代表挨拶く地球こどもクラブ副会長 江口雄次郎>

第12回アジアこども会議

こどもアジェンダ21宣言書とりまとめ・環境省 環境教育推進室長へ提出

高円宮妃殿下ご退席

アジアこども会議内容

■ 会議テーマ「「楽しく住むってどんなこと?」「家庭で」「地域で」「地球で」」

今回のアジアこども会議は、グループごとに環普段行っている取組やアイデアを話し合ってもらった。そして、その意見を全て模造紙に書き、最後にグループの代表者がそれを発表した。



タイ パパック・スジンダ (小学校6年生)

タイでは、津波の影響で畑を耕す土地や職を失った人が大勢いて、環境問題を考える余裕のない人達が大勢います。自然を大切にすることは重要な事です、時にはその自然が人間の生活や命を奪ってしまうということも忘れてはいけない事だと思います。日本では、水は何時でも使え、食べ物も食べたい時に食べられる素晴らしい国だと思いますが、それが当たり前でない国が数多くあることを知っておかなければならないと思います。



日本 岡部 憲和（中学2年生）

東京のある地域では打ち水をして、気温を下げようというイベントを開催しましたが、その日の東京の気温は34度あり、打ち水をして2度下がったらしいのですが、たった2度下がっても気温は32度もあるわけで、その効果でクーラーやその地域全体が涼しくなるわけでもないし、余り効果が無いのに大量の水を撒くことで、大切な水を大量に消費してしまう事に疑問を持ちます。どうせ実行するのなら、例えば昼間1時間だけクーラーを消して自然の風を利用して涼む方法を考えると、か、実行して意味のある事をした方がいいと思います。



中国 リュウ・ケンキョウ（中学2年生）

中国では、砂漠化問題が深刻化しています。砂漠化するスピードが大変早いので、植林をしてもなかなか追いつけません。そのためにも、原因ともなっている地球温暖化を世界の人々と協力して少しでも歯止めがかかるよう心がけていきたいです。それと、日本で行っている打ち水のような、昔の人の知恵を借りるという方法も大切だと思いました。

こどもアジェンダ 21 宣言まとめ&署名



会議で発表された各国のそれぞれの環境問題は、世界に共通する問題であり、まずは自ら行動して生きている限り環境を守っていくことの決意を込めて今年の「こどもアジェンダ21宣言書」が完成いたしました。

こどもアジェンダ 21 宣言書

私たちは、全体の一部なので、お互いが尊重し合い共に分かち合い環境を守るのが永遠の義務である。

まずは自ら率先して行動を起こす。



各国1人ずつ並び、代表して日本の岡部憲和君が、渋谷晃太郎環境省総合環境政策局 環境教育推進室長に手渡しました。

懇 親 会



●日 時 2005年7月28日(木) 17:45～18:45

●会 場 ホテルオークラ新潟(新潟県・新潟市)

プログラム

石井会長、他理事懇親会場へ

高円宮妃殿下 懇親会会場へご案内

挨拶 <井田専務理事>

乾 杯 <内海桂子理事>

ご 歓 談

高円宮賞作文朗読(小学生 栗原万誉／中学生 河合麗子)

閉会の辞

高円宮妃殿下ご退席 控室へご案内

閉会・解散

授賞式他イベントご出席者

高円宮憲仁親王妃久子殿下（コンクール名誉総裁）
 渋谷晃太郎 環境省総合環境政策局 環境教育推進室長
 川上忠義 新潟県副知事

石井 吉徳	地球子どもクラブ会長	東京大学名誉教授／富山国際大学教授
長岡 喜法	〃 副会長	財団法人長岡育英会理事長
江口雄次郎	〃 〃	環境NGOアジア環境連帯代表
井田 敏夫	〃 専務理事	株式会社井田企画 社長
江森 陽弘	〃 〃 審査委員長	元朝日新聞編集委員
長沢 光男	〃 〃 審査委員	環境ジャーナリスト
森 ミドリ	〃 〃 〃	音楽家
内海 桂子	〃 〃 〃	漫才協団会長
東てる美	〃 理事	女優

(協賛企業・その他)	鼓 紀男	東京電力(株) 常務取締役
	佐藤 實	東北電力(株) 執行役員新潟支店長
	相楽 良樹	三井物産(株) 新潟支店長
	栗田 宏	〃 新潟支店次長
	坂本 正義	(財)長岡育英会 専務理事
	長岡 眞一	〃 評議員
	数野 強	山梨ことぶき勸学院 学院長
	石本 龍一	石本酒造(株) 会長
	中山 節子	新潟県教育長義務教育課 指導主事
	相沢 昌之	北海道長沼町教育委員会教育長
	廣岡 雅浩	北海道長沼町役場 総務課長

国内入賞者	12名	海外入賞者	8名
海外引率者	4名	通訳者	4名
入賞者家族	20名	マスコミ関係者	若干名

環境視察



- 日時 2005年7月27日(水)
- 見学場所 ビュー福島潟
- 参加者

国内入賞者	10名	海外入賞者	7名
海外引率者	4名	通訳者	4名

入賞者の子供たちにカメラを渡し、1時間ほどかけて干潟を散策しました。干潟には、昆虫や植物が数多く生息しており、子供たちが発見し、疑問に感じた事をビュー福島のスタッフの方がその都度、詳しい説明をしてくれました。渡したカメラでは、野鳥や花を夢中になって撮影していました。台風の影響で雨も心配されましたが、雨も降らずじっくり観察することが出来ました。

ビュー福島潟 集合写真

